

平成 29 年度後期授業改善アンケート集計結果

2018 年 4 月 2 日

主任教授 森 晃

教務委員 京相 雅樹

教育改善担当 桃沢 愛

1. データ概要

表 1 概要

集計科目数	20 科目 (H28:22 科目, H27:17 科目, H26:18 科目, H25:18 科目, H24:17 科目, H23:17 科目)
平均回収率	82.0% (登録者数に占める割合) (H28:66.7%, H27:64.3%)
実施日	2017 年 11 月 9 日～2018 年 1 月 22 日

2. 各項目の評価点

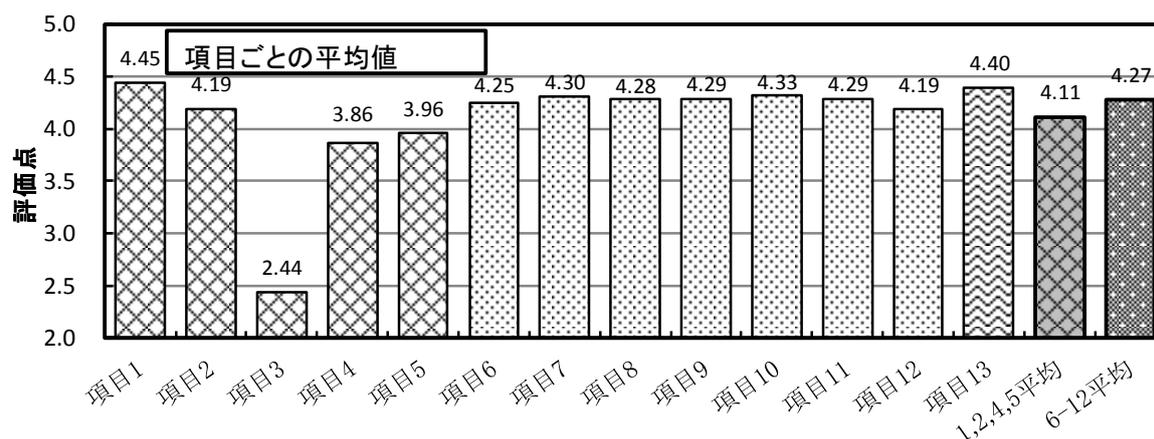


図 1 平均評価点

表 2 アンケート項目

●学生として
① 遅刻や欠席をせずに出席しましたか
② 居眠りや私語をせず授業に集中しましたか
③ 授業1回に対し宿題を含めた予復習を何時間しましたか(右の数字は時間)
④ わからないときに質問をしましたか
⑤ 授業の内容を十分に理解できましたか
●授業について
⑥ 話し方や説明は分かりやすかったですか
⑦ コンピュータ、黒板などの使い方は適切でしたか
⑧ 教材(テキスト、プリントなど)の使い方は適切でしたか
⑨ 授業計画(シラバス)に沿って授業が展開されましたか
⑩ 授業時間を有効に使っていましたか
⑪ 質問に適切に対応してくれましたか
⑫ 総合的にみてこの授業で力は付きましたか
●施設について
⑬ 教室の広さや設備は適切でしたか

※ 今年度から「授業評価アンケート」となり、質問項目が変更された

3. 科目ごとの評価点

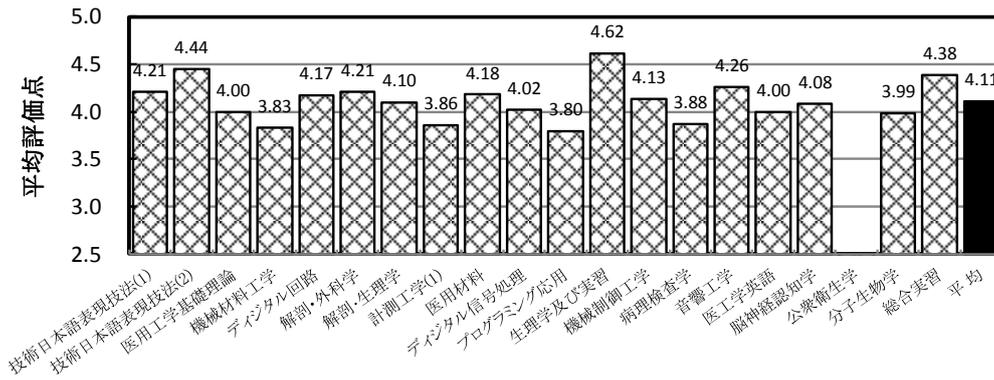


図2 学生に関する項目(項目 1,2,4,5)の平均

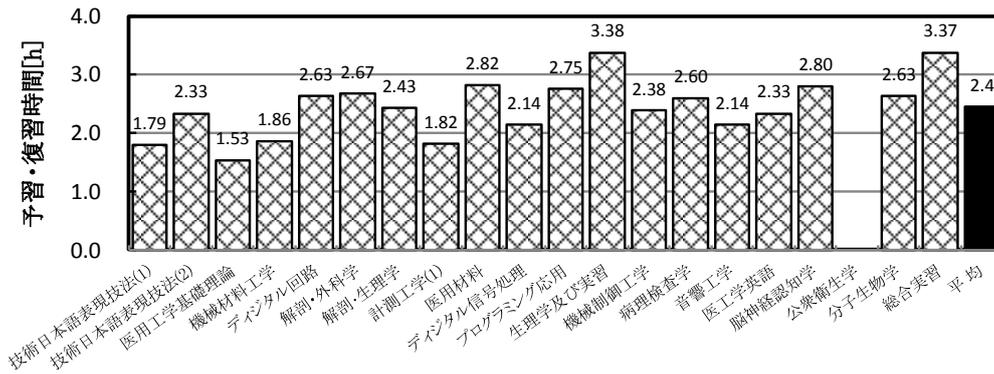


図3 学習時間

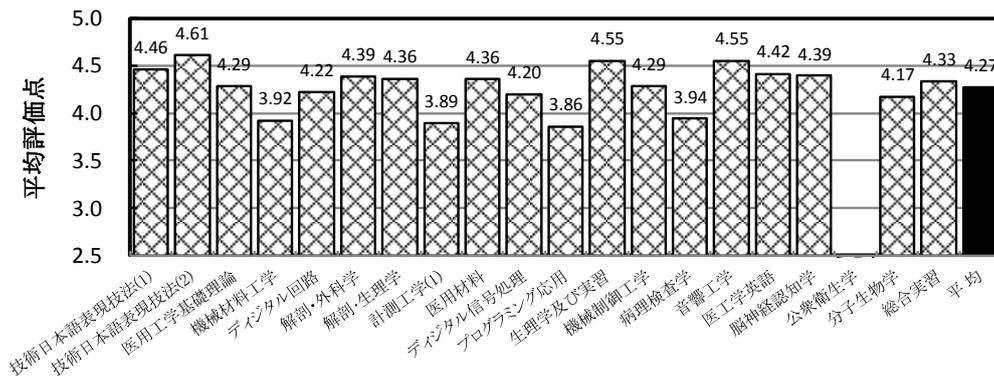


図4 教員に関する項目(項目 6-12)の平均

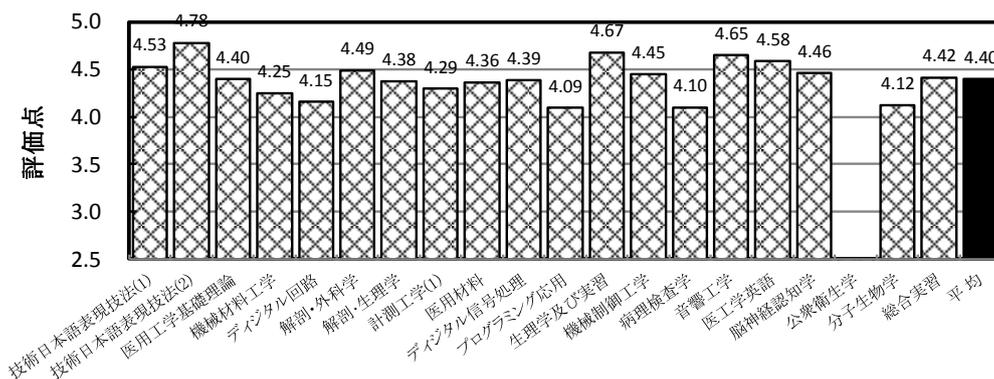


図5 施設について

4. 対応するアンケート項目の年次推移

表 3 対応する項目の年次推移

	集計 科目数	学生 (1-5)	教員 (6-12)	①授業 出席	②理解	③質問	④聴き 取り易さ	⑤理解度 確認・ 質問受付	⑥配布 資料等	⑦設備 活用	⑧授業 計画
2011年度後期	17	3.83	4.27	4.26	4.09	3.47	4.44	4.32		4.46	4.26
2012年度後期	17	3.88	4.20	4.32	4.01	3.54	4.29	4.17		4.36	4.28
2013年度後期	19	3.70	4.26	4.28	3.86	3.33	4.32	4.24	4.19	4.36	4.26
2014年度後期	18	3.67	4.15	4.31	3.73	3.38	4.18	4.12	4.16	4.25	4.12
2015年度後期	17	3.73	4.15	4.41	3.75	3.35	4.19	4.17	4.16	4.22	4.19
2016年度後期	22	3.87	4.23	4.31	3.88	3.62	4.24	4.16	4.27	4.26	4.26
2017年度後期	20	4.11	4.27	4.45	3.96	3.86	4.25	4.29	4.28	4.30	4.29

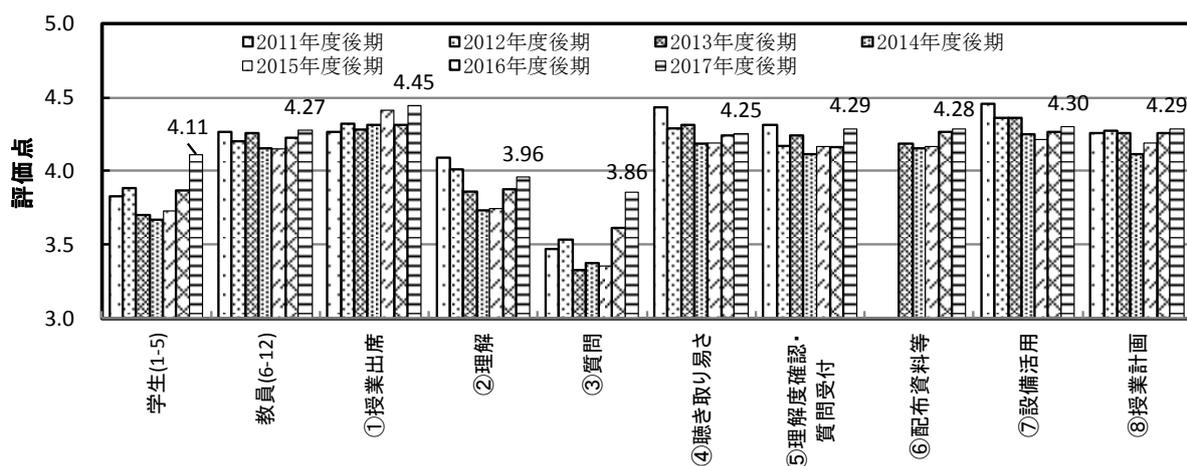


図 6 対応する項目の年次推移

5. アンケート結果の分析と各教員の改善コメント

(1) アンケート分析結果

平成 29 年度後期は 20 科目でアンケートを実施し、平均回収率は履修登録者の 82.0%であり、年々向上している。図 1 に項目毎の平均を示す。図 1 よりまず、授業外学習時間の平均値が 2.4 時間程度だったことが分かる。科目ごとの値を見るとやはり、レポートが毎回課される実習系の科目が高い値を示していた。項目 4 は積極的に質問を行ったかどうかの評価点であるが、相対的に低い値となっており、改善が必要と考えられる。

図 2 には平成 23 年度(2011 年度)からの年次推移を示す。実施内容に関する項目、つまり教員に対する評価点はすべての項目で 4 点を超えており、問題はないといえる。学生に関する項目の平均が大きく向上しているが、これはアンケート項目の変更によるものと、授業外学習時間の確保について各教員がこれについて授業の改良に取り組んでいることが要因と考えられる。

アンケートへの自由記入は毎年回収し、自由記入に対して担当教員がコメントを付けることになっているが、今年度は回収されたコメントの数は 15 件であり、前年度より増えている。特に演習、実習科目については学生からの生の声は改善に直接つながることが多く、今後も記入を促すようにしてゆきたい。

各科目について、常勤の担当教員から収集した改善に関するコメントを表 1 に示す。なお、このコメントはアンケート結果を確認した後に作成したものであり、次年度への改善目標を考える上で有効と考えられる。今年度は非常勤講師からのコメントは収集しなかったが、来年度以降、全科目についてコメントを収集できるよう、改善してゆきたい。

(2) 学科の教育改善検討会議の概要報告

検討会議では集計結果のデータを参照、確認しながら、問題点、改善点を検討した。まず(1)で述べた授業外学習時間については、さらにそれらを促すための授業方法が必要であることを再確認した。資料には示していないが、今年度から、科目ごとの年次変化をまとめ、各教員に配布して改善の参考にしてもらうような取り組みを開始した。すでに述べたが、自由記入欄への自由記述については問題点を指摘するだけでなく、よかった点について評価するなど、参考になるポイントが多々あったことから、今後も積極的に収集してゆく方針で一致した。また、授業評価アンケートとなって質問項目が変更されたことに伴い、経時変化を用いた改善については以前と共通の項目を利用して進めてゆくことにした。

(3) 各教科に対する担当教員からの改善に関するコメント

表 1 各科目の改善に関する担当教員のコメント

科目名	学年	担当	コメント
技術日本語表現技法	1	京相	課題内容の整理によりスムーズな理解を目指したい。
医用工学基礎理論	1	桐生, 京相	より分かりやすい説明を目指して資料等の改善を行いたい。
解剖・外科学	2	森	実際の人体模分かりやすい型を作成し分かりやすい説明をしたい。
解剖・生理学	2	森	実際の人体運動機能動画を活用し分かりやすい説明をしたい。
計測工学(1)	2	平田	実社会とリンクさせながら内容に興味を持てるような講義を行いたい。
医用材料	2	桃沢	授業中の演習時間を増やし、理解度の改善を図りたい。
デジタル信号処理	2	桐生	理論だけで無く実際の実装法についても説明したい
プログラミング応用	2	京相	クォーター制にあった内容の課題への更新や資料等のサポートを強化したい。
機械制御工学	2	和多田	授業の進め方, 配布資料の内容を含め, 学生の理解度が向上するように改善する。
生理学及び実習	2	桐生, 京相 島谷, 小林	TA の教育や装置の整備など, スムーズな実習のためにさらなる改善を行いたい。
音響工学	3	桐生	音について実際にデモンストレーションを増やしたい
医工学英語	3	京相, 桃沢	授業で取り上げるトピックについて見直しを行いたい。
脳神経認知学	3	島谷	より分かりやすい図や動画を用いてスムーズな理解を目指したい
分子生物学	3	小林	基本的な分子生物学の内容に加えて, より工学応用に有用と思われる内容も随時追加し, 講義内容の充実をはかりたい。
総合実習	3	森, 和多田, 平田, 島谷, 小林	応用分野に関する科目であるので, 応用事例や基礎分野との関係についてさらに充実させた内容にしたい